

忘れていませんか？ 家庭の防災対策

これからの季節は最も災害が多いといわれています。季節によって災害備蓄品の準備するものがかわります。ご家庭での対策を今一度確認し、災害に備えましょう。台風の影響により、電気や水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。また、水害なども考えられます。そうなったとしても生活ができるよう、最低3日分の飲料水や食料などを備えておきましょう。

【災害に備えた一般的な備蓄品の例】

- ・飲料水(1人1日3リットルを目安)
- ・食料(アルファ米、ビスケットなど)
- ・下着、衣類(防寒着含む)
- ・トイレットペーパー・ティッシュ
- ・携帯トイレ
- ・懐中電灯・ラジオ・電池
- ・各家庭に必要なもの(薬、ミルク、おむつ、ペット用品など)

【感染対策用備蓄品の例】

- ・マスク・手指用アルコール
- ・手洗い用石けん(ハンドソープ等)
- ・ウェットティッシュ
- ・体温計・使い捨て手袋
- ・口腔ケアグッズ(歯ブラシ・歯磨き粉等)

※夏場でも夜は冷えることがあります。防寒着もあるとよいでしょう。飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日ごろから水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水を張っておくなどの備えもしておきましょう。

【町からのお願い】

避難をするときは、短期間を予想していても「**非常用持出袋**」を持って避難してください。避難が長期になることや、町ですぐに対応できないこともあります。

ご協力をよろしく申し上げます。